

# 同友しずおか

2022

5

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」

VOL.522



私の逸品

(株)サンアイ電工

再生可能エネルギーはこれからの日本に必要なリソース



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

#### 1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

#### 2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

#### 3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、  
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130  
〒426-0037 静岡市葵区東町三丁目1番6号 FAX/054-253-7120 Email/kyou@scdyo.jp

## ◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

### ◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

### ◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

### ◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の<sup>きょうじ</sup>矜持と努力を結集し、  
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

## 2025年ビジョンの実践

【第11回】

「幸せ」が実感できる企業、  
経営者とは？

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

2025年ビジョンプロジェクトメンバーだった2年前、私は静岡支部長を務めており、なかなかプロジェクトに参加できずにいました。しかしながら「企業づくり」のテーマのチームに属し、少なからずも参加する中で「幸せ」という言葉に非常に感銘を受けていました。人を幸せにできる企業、幸せを感じることのできる企業、それはどのような企業であるべきなのか自問しました。かねてより「楽しくなければ、同友会ではない。」と支部の年間テーマに掲げさせていただきました。自社においても「会社を通じて人生を楽しむ」を理念にしています。ただ、楽しむためにはそれなりに努力は必要である、とも謳っており楽しむ力を育てていきたいと思っています。「仕事が楽しい、人生が楽しい」が幸せのすべてではありませんが、どうしたら社員が楽しく仕事できるか、人生を楽しいものにしていけるのか。そのためにまず私自身が実践していかなければと、楽しむ力を育む努力を心がけています。

大戸 利之氏 (尙大戸化成・静岡支部)

私の逸品

# 再生可能エネルギーは これからの日本に必要な リソース

(株)サンアイ電気 (三島支部)

代表取締役 山下 直毅氏



電気工事のホームドクターとして幅広く対応

今回の「私の逸品」は、三島支部の(株)サンアイ電気、山下社長にお話を伺いました。

2002年に電気工事会社として起業した山下社長は、地域に根ざした事業者を目指し、エアコンの設置工事から店舗やオフィスの電気配線工事を担い、会社を成長させてきました。

## ◆太陽光発電は日本で持続的にエネルギーを得る有力な手段

化石燃料が少ない日本において、自国でエネルギー生産する有力な手段となる太陽光発電。2011年の東日本大震災以降、急速に普及しました。同社は震災以前から太陽光発電システムの取付工事を行っていましたが、この頃から更に注力するようになり、長年施工に関わってきた経験から独自のノウハウを培ってきました。「設備は導入だけでなく、以降の維持に関わっていくことも重要」と山下氏。自社のノウハウを生かした施工からアフターメンテナンスまで手掛けます。

## ◆太陽光発電システムは投資から自家消費発電へ

「これからの太陽光発電システムのトレンドは、売電を軸にした投資目的から自家消費発電



スピーディーな対応と安全な施工を心がける

くサンアイ電気でエアコンをつけるメリット」

## ◆地域密着の電気工事のホームドクターとして

にシフトしてゆくだろう」と山下氏は話します。現在、産業用太陽光発電の売電価格は10年前では40円台だったのが、10円または11円と価格が下がってきており、一方で世界情勢や環境変動の影響から電気料金の上昇傾向が続く、と予測できます。すなわち、電気を売電することにメリットが生まれず、自家消費していった方が電気料金のランニングコストを抑えることにもつながります。このため、日中に太陽光で発電した電気を売電せず蓄電し、夜間に使う「蓄電システム」の需要が高まっています。

屋外設備とあわせて屋内の電

気設備工事も行う同社。店舗やオフィスでエアコンをリニューアルする際、一番注目しなければならぬのは、ハード（エアコン）が新しくなったことよりもインフラ（電気契約料金）が最適化更新されたかだと山下氏は言います。通常、店舗やオフィスの電気料金は年間のピーク電力で決まります。ブレーカー契約からエアコンを更新したタイミングで消費電力も下がるため、基本料金である負荷契約の更新をすることでさらに下がります。この負荷契約を更新できるのは家電量販店などでは登録資格を持っていないため提案されません。一方サンアイ電気は登録資格を持っているため、契約料金を含めたコストダウンを提案できます。一見、見落としがちな契約料金ですが、社員教育を徹底し、必ずお客様に提案しているということです。ここに電力の知識とエアコンの知識が掛け合わせた自社の強みがあります。

「自社の設備施工に責任を持ち、お客様に安心して使っていただきたい」と語る同氏。今回、6年ぶりの取材となりましたが、地域に根ざした経営哲学を貫き、創業当初からの想いは変わら



太陽光発電システムの取付工事

## (株)サンアイ電気

〒411-0903 駿東郡清水町堂庭264-10

TEL : 055-980-5511

URL : <http://www.sanai-denko.co.jp>

設立 2002年

社員数 4名

入会年月 2015年8月

事業内容 電気工事業、空調工事業、太陽光発電システム

取材・記事・増田隼人氏

(株)集客デザイン研究所・三島支部

活躍される山下氏とのエネルギーシユなインタビューとなりました。

保険屋から保険人になります

(有)ケーユー

浦山 美江氏 (伊東支部)



浦山氏

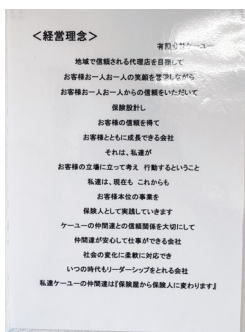
「何かやらねば」と同友会に入会

伊東市に事務所を構える(有)ケーユーの浦山美江氏を訪問しました。1988年に開業した父と共に2002年12月に法人代理店を設立。当初は営業未経験、保険の知識も皆無だった浦山氏は、「私自身父に何かあった時のための保険の立場と考えており、最初はお客様にも同業者にも相手にされませんでした」と当時を振り返ります。

2013年に新事務所に移転するも、予想に反して業績は伸び悩み、2018年になんとか安定を取り戻したと言います。その頃は保険代理店以外の交流は無く、興味もなかったそうです。会社が少しずつ安定し、「何かやらねば」という気持ちで2019年に伊東市が主催した伊東ビジネススクールに思い切った参加。その時のメルバーであった関野幸生氏(株野村商店・伊東支部)から同友会の誘いを受け、入会しました。

入会後の変化

浦山氏は「同友会に入会し、経営者である会員の皆さんがご自身の失敗談や辛い経験を普通にお話されているのに大変驚きました」と語ります。入会后、少しずつ変化が出て、異業種の会員と話を積



社内に掲示している経営理念

極的にする、社内全員で共通のことに対して話し合うことが多くなり、情報共有が少しずつできるようになってきたと言います。

お客様とともに成長できる会社を目指して

同社で掲げている経営理念は、「地域で信頼される保険代理店を目指して、お客様お一人お一人の笑顔想像しながら、お客様お一人お一人からの信頼を頂いて保険設計し、お客様の信頼を得て、お客様とともに成長できる会社」という言葉からはじまります。他人から見たら些細な相談も、ご本人には大きな悩みであるはずと考える浦山氏。「お客様に不安を解消して健全な日常を過ごしてもらいたい。一人ひとりと会って話をする、雑談かもしれないけど、言葉のキャッチボールを交わしお客様に寄り添い、共に成長できる代理店を目指します」と語ってくれました。

経営理念の最後に『保険屋から保険人になります』とあるように、お客様と真摯に向き合うことを大切にしている同社、「本当に来てくれて良かったよ!」「あな



(有)ケーユー社屋



明るい雰囲気の内

(有)ケーユー

〒414-0045 伊東市玖須美元和田722-364

TEL: 0557-44-0009

設立 2002年

創立 1988年

社員数 2名

入会年月 2020年1月

事業内容 保険代理店

今後の展望についてたずねると「保険という分野に限定せず、同友会の仲間と共に、広くネットワークを拡げてより相談所になりたいです」と話してくれました。経営方針に「あなたの生活をお守り致します」と掲げられているように、保険という枠にとらわれずお役立ちを追求していきます。

取材・記事: 野村勝也氏  
(株)野村商店・伊東支部

## 県共育委員会 合同入社式

# 合同入社式を開催 新入社員を祝福

2022年4月4日(月) 静岡県教育会館

県教育会館にて共育委員会主催の合同入社式を開催し、会員企業15社より計37名の新入社員が参加しました。野川和三共育委員長(株野川商店・榛南支部)は冒頭の挨拶



で、参加者への祝辞と共に「仕事のなかで感じた嬉しいことや辛い気持ちを忘れずに、新しい新入社員がきた時にその気持ちを思い出しながら共育をしてください。それが共育につながります」と述べました。

続く記念講演では小松寛氏(㈲ヤマカ水産・沼津支部)より、苦しい干物業界に未来を感じられず「干物をやめよう」と考えていたところ、同友会の仲間との出会いをきっかけに「干物の海外展開」という夢を描けるようになった自身の経験を話し「仕事と夢を追うことは車の両輪。両方ががんばることが自分の糧になる」と伝えました。

先輩社員からのメッセージでは、2021年に入社した小塚建設(株)の中村悠史氏より、失敗を重ねながら成長してきた自身の経験をもちに「今できることを精一杯やることに自信につながる」と新入社員へ伝えました。その後のグループ討論では、社会人にとって大切なことについて話し合い、講演から学んだことや各々の抱負を語りあいました。新入社員代表の挨拶では(株)青山建材工業の高戸美郷氏より「社会人として誇りと責任をもち日々の業務に取り組んでいきます」と決意表明があり、続いて参加企業

より同席した会員経営者並びに上司から記念品を贈呈しました。閉会の挨拶では鈴木雅夫委員(香港静雅有限公司・榛南支部)より「同友会の会員企業は社員のことを一生懸命考えてくれる会社ですから、辛いことにもめげずに頑張ってください」と挨拶。参加者からは「失敗を恐れずにチャレンジしていきたい」「一日でも早く会社や社会に貢献できるようがんばる」など前向きな感想が多くあり、社会人の先輩や同期の社員と共に決意を新たにする機会になりました。

6月21日(火)にあざれあ(静岡市内)にてビジネススマナー&コミュニケーション研修を開催しますので、ぜひご参加ください！



先輩社員メッセージ

### 4月イントロセミナー

## 小さくとも地域で輝く企業への挑戦

溢れるアイデアと突破力は学びから！  
4月22日(金) 同友会会議室&ZOOM

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。4月は会員・オブザーバー合わせて18名が参加しました。伊東市であわび、さざえ、伊勢海老卸売等を営む三浦大輔氏(㈲三浦水産・伊東支部)が登場。上京生活を経て27年前に入社した際は遅刻を繰り返すなどひどい状態だったといいます。変わったきっかけは東日本大震災で8名中5名が退職し、社員の大切さを痛感したことでした。同友会に入会してしばらく幽霊会員でしたが、先輩会員の言葉をきっかけに経営指針の作成に取り組んだことで、社員と共に目指す先が明確になったといいます。「ここまでこれたのは支えてくれた同友会の仲間のおかげ」と熱い想いを語りました。バズセッションでは「地域で輝く企業になるために挑戦していることは何ですか？」をテーマに、理念や指針の重要性を語り合いました。



三浦 大輔氏

次回は5月27日(金)です。ぜひお知り合いの経営者にご参加ください。

## 2022 年度静岡同友会 スローガン

# 「入ってよかった」「続けてよかった」 「企業も地域もよくなった」



左から、松葉秀介代表理事、井上斉代表理事、簗威頼代表理事

5月13日(金)に県定時総会を開催し、2022年度スローガンと重点方針(案)を発表します。同友しずおか4月号に第49定時総会議案書を同封しておりますので、その他議案と併せてご確認ください。

### 2022年度静岡同友会

#### 重点方針(案)

##### ◆県同友会は

- 会員の多様性を生かす学びの場を創ります
  - 次代を担う会員・役員にむけて同友会役員の育成・継承に取り組みます
  - 会員増強は私たち企業家ができる最大の地域貢献の想いの下、12000名会員の実現をめざします(2025年1500名会員・対企業組織率3%)
  - 県同友会の未来を展望し機構改革・整備に取り組みます
  - オンラインツールを活用した新しい会活動の充実に努めます
  - 時代の変化に適応した事務局の働く環境整備を進めます
  - 同友会のリーダーが集まる県理事会のさらなる活性と充実を図ります
- ##### ◆会員(自社)は
- 経営理念を確立し、事業継続を見据えた経営指針書の作成、更新をしよう
  - 自社と地域の未来像・ありたい姿を社員と描き、10年ビジョン・経営方針・経営計画をつくろう
  - 不離一体(自社と同友会の歩み)シートを作成し、学びと実践に生かそう

##### ◆支部は

- 地域で奮闘する経営者に同友会を伝え入会者を増やそう
- 互いに声をかけあい一人で経営に悩む会員を減らそう
- 会運営に終始せず互いの経営体験を語りあう時間を設けよう
- 不離一体(自社と同友会の歩み)シートを、役員会や例会、小グループ活動で活用しよう
- 振興基本条例の制定自治体を増やし、推進会議にも積極的に関わろう
- 地域の諸機関(行政・教育・金融・他団体等)と連携し、会員の生の声や地域課題を共有しよう

##### ◆専門委員会・研究会・部会は

- 他の専門委員会や支部とも連携し、経営課題解決にむけた活動を展開しよう
- 委員を増やし、委員会活動の活性化を図り新しい活動を創ろう
- 会運営に終始せず互いの経営体験を語りあう時間を設けよう
- 地域の諸機関(行政・教育・金融・他団体等)と連携し、会員の生の声や地域課題を共有しよう

では3月に代表理事の皆さんへメッセージを発信しました。下記QRコードから動画を閲覧できますのでぜひご覧ください!



# 全11支部で定時総会を開催し更なる飛躍の年へ 5支部で正副代表理事が 企業づくり・地域づくり・同友会づくりを語る

4月25日の三島支部総会をもって全支部の定時総会が終了。総会では2021年度の活動を振り返り、2022年度の方針を確認しました。伊東、三島、富士、富士宮、中遠の5支部では正副代表理事による経営実践報告を実施。同友会での学びをどのように企業づくりに生かしているか学び合いました。報告を実施した5支部を紹介します。

## 伊東支部



高木基氏(株)バリユー・エージェンツ／県副代表理事が2022年度の支部活動に取り入れてほしいこと、同友会の学びと自社経営は不離一体であることを話しました。県同友会重点方針案をもとに、地域の経営者を仲間へ迎え入れること、会員が互いに声を掛け合い一人で悩む会員を減らすことをはじめ、不離一体シートの活用や地域諸機関との連携の推進を呼びかけ

ました。

高木氏は2003年に入会し、その後、支部の理念委員会会長、三島支部長、2017年からは副代表理事に就任。役を引き受けるとともに会社も成長してきたことを不離一体シートをもとに伝えました。

## 三島支部



箕威頼氏(株)アサギリ／県代表理事が経営指針の必要性を報告しました。入社時には厳しい経営状況、大きな負債を背負う出来事も重なるなど大きな不安を抱えていた同社。そんな中、経営指針の作成に着手し、実践しながら企業を変革してきました。経営指針を作成することで自社の経営を最短期間で目標に到達させてくれると話し、「事業性評価シート」や「経営デザインシート」なども通じるものなので金融機関と関係性を構築する際にも役立つと伝えました。コロナ禍にあっても指針をもとにビジョンを再定義し「循環型社会を支える」

ための新たな挑戦ができていますと話しました。

## 富士支部

宇佐美健介氏(株)エージエントウさみ／県副代表理事が自社経営への考え方、地域との関係性への考え方の変化を報告しました。入会当時、事業承継や組織づくりが課題となる中、経営理念成文化に着手し、自社の存在価値を明確にします。そんな中2011年に発生した東日本大震災。多くの命と地域がなくなってしまう被災地を目の当たりにし、自身の在り方を考え直すとともに地域を未来に残す重要性を強く認識しました。



同友会では2013年に富士宮支部長、2021年に副代表理事、フォーラム実行委員長に就任。役を引き受けることで得た学びと多くの会員との繋がりが人を大切にできる風通しの良い企業づくり、地域に感謝する企業姿勢の実践に繋がっていると話しました。

## 富士宮支部

井上齊氏(ワシロック工業)／県代表理事が登壇。「豊かで充実した人生のために」をテーマに業界を取り巻く環境の変化、経営者の仕事とは何かを報告しました。昭和から平成にかけて

の地震により、不良施工や経年劣化のコンクリートブロックの倒壊が相次いだことで需要が激減。父の急逝により会社を継いだ井上氏でしたが「つもり」経営のワンマン経営者になっていたことに気付き、経営指針の成文化と実践、社員への権限移譲による自主・自発的社員の育成に取り組みました。



社員にとって「仕事」が「志事」になることで社員の豊かな人生に繋がりと企業も成長すると井上氏。大切にしている言葉の数々の中から「社員の人生の総和が会社の歴史」と竹内昭八氏(株)タケウチ／富士宮支部)の言葉を紹介しました。

## 中遠支部

松葉秀介氏(松葉倉庫)／県代表理事が経営指針と経営判断の相関関係の経営判断の思考プロセス、地域課題の捉え方など、同友会での学びと自社での実践を報告しました。先代から事業を継いだ松葉氏は3代目に継承するための経営マップを作成、自身の位置づけを明確にしています。また、経営指針書を常に経営判断の根拠に位置づけ、早期着手を意識し実行しています。「経営は環境との共育、投資計画なくして成長なし、リスク(想い)なくして得るものなし」と経営への考え方を話しました。

# 5月・6月

## DOYU CALENDAR

5月16日(月)～6月15日(水)

5月16日(月)	県障がい者問題委員会 (18:00 ZOOM) 県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県組織増強委員会 (17:30 ZOOM)	27日(金)	イントロセミナー (19:00 同友会事務局&ZOOM)
17日(火)	第19期経営指針を創る会オリエンテーション (19:00 ペガサート7F)	6月1日(水)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)
18日(水)	伊東例会 (19:00) 沼津例会 (19:00 沼津商工会議所4階大会議室orZOOM) 県共育委員会 (18:30 ZOOM)	2日(木)	正副代表理事会 (15:00 ZOOMまたは同友会事務局)
19日(木)	中遠例会 (19:00)	3日(金)	中小企業憲章・条例推進月間、中小企業魅力発信月間キックオフ行事 (13:00 オンライン)
20日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店&ZOOM)	7日(火)	県広報情報化委員会 (19:00 同友会事務局&ZOOM) 県組織増強委員会 (19:00 ZOOM)
23日(月)	三島例会 (19:00 ZOOM&三島商工会議所)	8日(水)	御殿場例会 (19:00)
24日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM) 全県フォーラム実行委員会 (19:00 同友会事務局&ZOOM)	9日(木)	浜松例会 (19:00)
25日(水)	志太例会 (19:00 藤枝文化センター&ZOOM)	10日(金)	榛南例会 (19:00)
26日(木)	県理事会 (15:00 ZOOMまたは事務局での併用開催)	11日(土)～12日(日)	第19期経営指針を創る会① (9:00 静岡駅前会議室LINK)
		14日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート6F)



《 あなたのスケジュールノートに必要な事項をご記入ください 》

### 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1051名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
かみ お けいすけ 神尾 圭祐	リヴ・レーダ(株) 鍼灸整骨院、デイスサービス	富士	小川 友代
で なわ よしと 出縄 良人	出縄良人税理士事務所 会計、税務、コンサルティング	榛南	河内 崇文

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

### 新事務局員紹介



佐久間 愛理 (2022年4月1日 入局)

4月から事務局に入局いたしました。社会人としてのスタートをここで迎えられることをとても光栄に思います。生まれてから大学まで過ごしてきた地元に貢献していきたいと思っております。共に学び合う姿勢を大切にしながら日々私も成長してまいります。初めてのことでばかりでいろいろとご迷惑をおかけするかもしれませんが、会員の皆様の期待に応えられるよう一生懸命がんばってまいりますのでよろしくお願い致します。

### 【お詫びと訂正】同友しずおか4月号 掲載内容の誤りについて

同友しずおか4月号の新会員紹介ページにつきまして内容の一部に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、謹んで訂正させていただきます。

・同友しずおか4月号最終ページ「新会員のご紹介」の所属支部と県会員数について

＜新会員のご紹介について＞  
(訂正前) 杉本由美氏の所属支部：榛南  
(訂正後) 所属支部：静岡

＜県会員数について＞  
(訂正前) 会員数1053名  
(訂正後) 会員数1054名